

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と利用児童からの満足度が高く、行きたい事業所と 思ってもらえている点	児童が「分かった」「出来た」という達成感を得られる支援 をしています。 専門スタッフによる計画的に基づく支援が実施しています。 コグトレやグループでの実行機能のワーク等、認知面の基礎 となる課題を楽しみながら行える工夫が出来ました。	必要な児童に適切なサポートが行えるように、今後も支援の 充実や専門性を高めていきます。
2	学習や生活についての助言や共感的な支援が出来ている点	学校や担当相談員との情報共有を行い、うまく行っている点 や課題の情報共有や、ご自宅で困っていることを保護者と相 談し合える環境でできています。 お迎えの際に、活動の内容や進捗状況をお伝えして、連携を 取っています。	自立で来所や帰宅している児童との情報共有、また学校や地 域と連携できる関係作りを行います。
3	個別での学びの対応や環境整備が出来ている点	学習や生活面で分からない所や丁寧に抜き出したい部分を、 スタッフが個別で分かりやすくサポートを行っています。	今後、更なる専門性が高められるように研鑽し、専門性を高 めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部、日々の様子をお伝えすることが十分にできない、保護 者や利用児童がいた点。	自立で来所、帰宅されるお子さんに対して、連絡帳のみでの 情報共有になってしまい日々の様子をお伺いする機会が減少 してしまった事や、活動内容を充分にお伝え出来ない事があ りました。	毎月、保護者様にお電話やメールにて、より詳しい情報共有 が出来るようにします。 保護者やご本人が困った時に気軽にご連絡出来る関係作りを 目指しています。
2	ペアレントプログラムや家族支援等の開催が未開催の点	年齢層が広く、保護者様が知りたい情報を収集することや実 施期間を設定することが難しく行う事が出来ませんでした。	保護者様や児童に必要なサポートが出来るようにしていま す。
3	緊急時の避難先や子供の安全配慮に対する周知が足りなかつ た点	利用開始時に緊急時の避難先や災害伝言ダイヤル等の使用方 法をお伝えしましたが、定期的にお伝えることが出来て おらず、周知が不足していました。	避難先の周知、災害伝言ダイヤルの活用方法、災害時緊急情 報の確認を、定期的実施をし緊急時にも迅速に対応ができ る体制を作ります。